立教大學新聞

月刊毎月拾五日發行
編輯印刷兼發行人 矢澤賢一
發行所 東京池袋 立教大學新聞學會
電大塚四〇四 振替東京[illegible]
定價一部金五錢 一年分金六拾錢
廣告一行五十錢 場所指定二割增

新興教育に就て

石川湧

ブルジョア教育は今所謂『新興教育』の聲に脅かされてゐる。そしてこのことは歴史の齒車を逆轉させようとする反動側にとつては恐怖と憎惡との對象をなすものではあるが、しかしながらあやまつたことのない歴史の軌道は必然的に彼らをレールの外へ放りだすだらう。

『バリケードの向ふ側に立つ』教育家たちにとつては從來教育は全智全能の神にもたとふべき力を持つものと思はれてゐた。一例として權威ある教育學者、文學博士野田義夫氏を擧げやう。この無知な博士は『教職十有余年』ののち恐らく畢世のウンチクを傾けたであらうところの四〇〇ページを越える大著『現代教育淵叢』の開卷第一ページにおいていふ。

『外部の生活狀態を向上する途は內部の精神生活を向上するより外なきことは千秋萬世動すべからざる原則である。しかも精神生活を向上する途は一に教育の助を借りるより外はない……』

この博士は、赤児のやうに單純な觀念論者である。十八世紀のフランス唯物論者たちも成程『人間は全く教育に左右される』（エルヴエシウス）といつた。しかし、この場合エルヴエシウスにあつては教育とは『社會的影響の總和』のいひであつて、わが教育學博士のいふ狹い意味のそれではない。もちろんフランス唯物論者は一切の理論が蒙ることを免れ得ない歴史的規定の故に矛盾を藏してゐた。しかしながらプレハーノフが正しくも指摘したやうに『彼らはその時代の科學の見地から徹底的に思惟した』といふかけ替へのない功績を持つてゐる。

×

ドルバツクやエルヴエシウス以來すでに百數十年の歲月が流れ、その間に學問はヘーゲルのやうな偉大な觀念論者、マルクスのやうな偉大な唯物論者によつてめざましい發展を遂げた。そして我々は科學の方法論として唯物論的辯證法を、又世界觀として辯證法的唯物論を持つてゐる。もし我々が『その時代の科學の見地から徹底的に思惟』するならばこの辯證法的唯物論の立場に立たなければならない。そしてその事を學問に從事するすべての人々に對して要求しなければならない。

しかるにわが博士にとつては、『千秋萬世動すべからざる原則』が存在する。何といふ幸福であるか！かくては我々は決して徹底的に思惟することが必要でないといふ幸福を持つことになる。しかしながら殘念なことにそれは豚の幸福だ。

野田君は又次のやうな寢言もいふ。すなはち、彼は現代の時代精神が何を要求してゐるかの自問に答へて次の四項を擧げてゐる。（雜誌『現代教育』創刊五月號卷頭論文）

一、生活の安定と充實へ
二、人格の獨立自由
三、共存共榮の社會生活
四、文化永遠の進步

大變結構！誰がこれを望まぬだらうか？

だが博士にはお氣の毒ながらこれらのことはいはゆる『教育』のみによつては斷じて實現され得ない。こんなことを教育學者や教育家たちが、講壇の上や紙の上で百萬べん唱へたところで『生活の安定』はおろか、日を追ふて增加する欠食兒童の晝食のたしにもならないのだ。資本の支配と勞働力のさく取が存在する限り『人格の獨立』も『共存共榮の社會生活』も世間知らずの老いぼれ教育學者の書齋の夢、その夢のいはせる寢言にすぎないのだ。文字通り餓死線上に追ひつめられた勞働者農民が階級意識にめざめ、鬪爭に赴くのに反して、學者たちが進步の擔ひ手たることをやめた現代において、『文化永遠の進步』を夢みてゐるとは何といふ結構な御身分であることか！

このやうな一見したゞけで明白な觀念論ではもはや大衆を捕へるには不充分となつた。ブルジョアジーは新たな學者を必要とする。そこで待つてゐましたとばかり飛びだして御用を承る三大夫が出現する。今度は一見もつともらしい社會的な立場に立つ理論家どもが登場する。いはゞ社會學派といふ連中がそれだ。

このブルジョア的な社會學派は他の科學の世界では既に早くからマルクス主義によつてこつぴどくやつつけられてゐるのにも拘らず教育の方面では近頃になつてやつと頭をもちあげて來たやうだ。この事は教育界が他の分野よりもおくれてゐることの一つのあらはれだ。

×

この連中はさきの連中よりもつとたちが惡い。一二の例をあげると、田制佐重氏や田邊壽利氏などがこの中に入るだらう。前者はアメリカの社會學を、後者はフランスの、特にデユルケーム派社會學を手品の種に使つてゐる。政治的には民主々義に行く傾向を持つ。この連中は社會や教育を『色々に解釋』しやうとする。そして唯それだけだ。だが重要なことは——それをマルクスのいふやうに——變革することだ。『新興教育』は後の立場に立たねばならない。詳述を必要とするが與へられた紙數が少いので極めて簡單にする。『新興教育』は變革の前期と後期とにはかなりな相異を呈するが、さしあたり前期において、それは被教育者を變革への闘爭に驅り立てるものでなければならぬ。かくいふ時、生田長江のやうな男はマルクス主義は理論をプロレタリアに『押しつける』といふが、彼は全くマルクス主義を理解してゐない。（最近の朝日新聞に出た彼の論文參照）從來のブルジョア的教育によつて無智にされ、偏見を抱かされてゐる大衆を我々はそれらの幻想をとり除くことによつて正しい理論を學ばせることが出來る。さうすることによつてプロレタリアートは變革への闘爭に參加するだらう。それは決して押しつけるのではない。支配階級のまやかしから解放するのだ。その時抑壓されてゐる大衆は眼ざめるであらう。

夏期の讀書

「經濟學を中心に」何から讀むか

山本二郎

カビの生へた理論の蒸しかへし、褪せたノートの反芻、あるひはまた裝釘をのみ新たにしたいはゆる教授風の經濟理論が強ひられてゐる。さらにまた俗惡極まる俗流經濟學書のおびたゞしいぜう舌が豐せしめる。我々は『殘滓』の『反芻』に食慾を滿足させるか。我々は讒言に耳を藉すか。否、斷じて否！我々は事實の本質を分せき解明して眞理を探究すべきである。科學としてのプロレタリア經濟學——マルクス主義經濟學こそこの眞實の任務を果しうるものである。こゝに課題の解答を生み出す。

× ×

正しい認識の下に平易に、初歩的な、一般理論を取り扱つた教科書——ラピドス、オストロヴイチヤノフ共著『マルクス主義經濟學』は實にこの要求に應じた著書である（邦譯は佛語よりの重譯で原著は一九三〇年第五版で著しく改訂補されてゐるが根本の立場に變化ないはもちろんである）從來のカウツキイの『資本論解說』以下一聯の資本論解說書の內、本書ほど平易に、具體的に、しかも嚴密なる唯物辨證法的立場から書かれたものはないといへる。此書の特徵としては(1)經濟學の諸問題をサヴエート經濟の同じ問題と並べて考察してゐる（サヴエート經濟の理論と資本主義經濟の理論とを對比することにより後者をより明白にしてゐること、換言すればマルクス主義經濟學の理論を一々サヴエート・ロシアの實證で裏づけてゐること）、(2)文章が非常に平易であること（本書の目的による即ち黨學校、勞働學校等の教科書用なる要求を滿たすことである）、(3)讀者の能動性と獨立性とを考慮してゐること（各章末に問題を提起して、各種の命題を思考するやうに配列してある——「付錄」）

本書は十篇二十九章百五十九節からなつてゐる。マルクスの研究法、敍述法によつてゐることはもちろんである。即ち第一篇商品生產制の調整者としての價値、第二篇余剩價値の生產、第三篇勞賃、第四篇利潤論及び生產價格論（以上は大體において資本論第一卷に相當する）第五篇商業資本及び商業利潤（資本論第二卷に相當する）、第六篇貸付資本と信用、信用貨幣と紙幣第七篇地代、第八篇資本蓄積と資本主義的關係の再生產（以上は大體において資本論第三卷に相當する）以上の各篇でマルクス資本論三卷を祖述してゐる。更に第九篇帝國主義と資本主義の××、第十篇過渡期の經濟の二篇でマルクスを更に展開したレーニズムの要領をえた解說をしてゐる。

以上の如く本書はできるだけ正統的な立場をとりつゝマルクス主義經濟學を最大限に平易に具體的に解釋したものである。入門書、教科書として、いかなる初歩の者もサヴエート經濟の指導理論たるマルクス・レーニン主義の大綱をこの書でほゞ理解することができる。換言すれば資本主義經濟の理論の忌たんなき批判を明確に把握し得る。

× ×

初歩の讀者は本書によつてマルクス主義經濟學の大綱を知りうるが、個々の部分の理論的深さ、嚴密さが充分でないとはやむをえぬ。より以上の理論的な深さ、嚴密さは直接資本論をあるひは他の參考書（マルクス、賃勞働と資本、勞賃價格及び利潤、經濟學批判、余剩價値學說史エンゲルス、反デユーリング論レーニン、經濟學教程河上肇資本論入門、經濟學大綱等々）を讀むべきである。

いかなるブルジョア經濟學の理論も究明し得ぬ事實、即ち現實の姿をとつて現れてゐる世界經濟恐慌の本質、その必然性、またサヴエート・ロシアに於る五ケ年計畫の目覺ましい成功による社會主義社會建設への見透し等々はマルクス主義經濟學の理論に立つてこそ始めて理解されうるものである。十のブルヂョア經濟學の理論をよむより一のマルクス主義經濟學の理論をは握することがもつとも經濟的でかつ經濟に正しい。

新興佛蘭西文學

河盛好藏

現代佛文學に關する本は無數にあるが、僕がいま諸君に、是非讀み給へ面白いからと奬めようといふのはアンドレ・ビイ著「現代佛文學」である。さうして有り難いことにはこの有益だが難しい本が實に麗しく我々の言葉に譯されてゐるのだ。草野貞之氏譯「新興フランス文學」（白水社版）がそれである。

▼ ▲

原著者のアンドレ・ビイといふのは令名ある新聞記者ださうだが、恥しいことには僕はこの人については今まで知らない。で、この書物だが、序文によると、文學史を書く方法に二つある、一つは自己獨特の美學と主張によつて取捨選擇して書く主觀的方法と、もう一つはあれもこれも多少とも問題を起した作品、作者、事件はことごとく採錄するといふ方法である「我々は本書において、自己の好みを遠ざけて各作家にそれぞれその分前を與へてやることに努めてゐる」

內容は詩、小說、思想の三部に分れてゐる。殘念なことには劇がない。これは原著と同じ叢書のなかに、特に劇だけを取扱つた名著があるからである。

まづ詩の部では、十九世紀末における最も有力で華々しかつた象徵詩の運動が、今世紀に入つて如何なる反動を持つたかを述べつゞいて現代詩壇の諸傾向を紹介してゐる。マラルメ、ヴエルレエヌ、レニエ、サマン、これ等、僕達少年の日の夢を育んでくれた懷しい名は既に消えて、アポリネエル、マクス、ジヤコブ、コクトオ、フランシス・ピカビア等の躍しい名がそれに代つてゐる。さうしてそれ等の詩の譯がそれぞれの格調に應じて實に巧妙である。例へば「思ひ出は角の響き、そのひびきは風の中に消えうせる」また「時は短し、葡萄花さき實り酒となり、黎明の光あわく暮るるまで」

第二部は近代文學樣式の寵兒、小說である。まづ心理小說、風俗小說、異事異聞、かいぎやく小說等の種々の小說の型を說き、進んで近代小說のテエマとなつた戰爭、スポーツ、郷土、子供、動物を語つて形式と內容の兩方面から、複雜にして豐富極まりない現代フランスの小說を實に見事にさばいてゐる。數多い作家がそれぞれ一頁乃至は半頁のなかに、その難所を巧に捕へて述べられてある。例へばフランシス・カルコ。「彼はパリの一風景であるバアやホテルの內部を紙面に移すことに妙を得てゐる。又、雨の日の雰圍氣や場末の町のひどくうらぶれた光景を描きだすのが非常に巧い。彼の主な特質は地味な筆致、浮彫的な描寫、明澈な枝葉の取捨である。加ふるに彼は麻のやうに亂れた人間心理の解る感覺をもつてゐる」うんぬん。

▼ ▲

第三部は思想で現代フランスの重要な思潮とその影響が述べられてある。ロマン・ロオランと人道主義的個人主義。アンドレ・ジイドとニイチエ的反道德主義の如く。その他、注目すべき批評家思想家學者がことごとく網羅されてゐて、それが單に人名辭書的に羅列であるのみならず、實に面白く書かれてある。多少ジヤーナリスチックにさへも。例をあげたいが紙數が盡きた。尙卷末には人名索引と文獻の他に、譯者の手になる、卷中に引用された書名の詳細な索引が付せられてある。

時は盛夏。海に山に、または故郷の町にある諸君が、快い午睡のあとのさはやかな一時にこの書をひもどいて、我々の愛するフランスの文學に多少とも興味を覺えて下さるならば、筆者の望みは充分にむくひられる。

創作特輯號の

立教文學横斷

室田武

過般某日刊新聞紙上に「立教禁語辭典」なんてものが出てゐた位に學內出版物に對しては當局も隨分神經が鋭敏になつてゐる樣だ。それだけに又編輯子の苦勞も並大抵ではないだらう。筆者は一日も早く、否即刻からうした馬鹿化た檢閲制度の撤廢されん事を立教大學のために切望するものである。さて、さうした中から出た七月號を超スピードで展望させてもらつた雜感を取り止めもなく述べさせてもらはう。

まづ第一に筆者は「立教文學第六月號を評す」といふ千葉龜雄氏の批評を拜讀したのであるが、そのインチキさ加減には氣がつかざるを得ない。我々は大學教授、東京日日新聞學藝部長、あるひは批評家として、チヤーナリストとしての千葉龜雄氏の一言一句には如何に信頼し、傾聽してゐる事であらう。それにもかゝわらず實に不用意な、不親切な言葉を連發してゐる。「……槪して可とすべきではあるまいか？」「寧ろ販賣り品の習作と見た方が適當であらう。かうした主題は、新興藝術派のたれかに書したらよかつたと思ふ。」「…檢閲當局は『手品師』や『洗足池』の方を喜ぶんではあるまいか？」「少し甘いといふ非難はある。甘いのも時にはいゝ。」だとか「何でも書く練習をなさるのは、非常に役立つ事ですから皆さんも、立教文學を目指して、大いに質の向上に、努力されて行くならば、六大リーグの覇者より輝きを增すでせう。」等と、そして最後に埋草式（筆者にはそう見えた）に現在各大學から出てゐる雜誌の紹介をだらだらと述べて居る「立教文學」は成程なつてないものであるかも知れないが堂々たる天下の千葉龜雄氏の評にしてはあまりに無責任極まるものであると思ふ。失禮だが敢て暴言を吐いたわけである（傍點筆者）

城田シユレーダー君の「壁の中から」はよく讀ませてくれた作品である。今年の一月號の新青年に「決鬪」を發表した頃から見ればこの人は益々病的な位に鋭さを加へてくる。先月號の「古生物」もよかつたが、今度の作品はあれよりも以上に讀ませる作品だ。もちろん作者の體驗であらうが、とにかく作者の意圖する怪奇小說としてはまづ取りあげるべきものである。この作品を「何だ、こんな馬鹿な話があるものか……」といつたら仕方がないが、合理、不合理を超越したところにこの存在價値があるのだらう、ただ夢美が一夜で一氣に實に順序整然と語るよりも斷片的にいはせた方がよりこの作品を效果的にしないかと考へる。結局筆者は夏の夜にふさわしい讀みものであるとしか思はれない。探偵小說、怪奇小說としてはそれでいゝかも知れないが、作品といふ點から檢討する時にはいさゝか不滿を覺える。こんな事をいつてこの人をけなすわけではないが、作者の健かな今後の成長を期待する。

間技吉君の「更衣場」は仲々いゝところを掴んでゐる、もう一息といふ所だ。イデオロギー的にもつと揚棄したら相當伸びる人である。方言をよく生かして、全體まとまつた作品である。さてその後に筆者の頭に浮ぶものは……殘念ながら思ひだせない。

藤本逸也君の「金塊」では悲觀した。一體作者は何を主張し、何のためにこんな題材を捕へたのやら見當がつかない。嚴選をしたならばまづ豫選で落される作品ではないかと思ふ。天下の「立教大學」には標準となる編輯方針がある事であらうがそれにもかゝわらず、かうした作品が通つたといふ事は筆者に對して怪しげな編輯子の選を推測させる。飯島創一君の「女」では油臭い港町は割合出てゐる。主人公は君代にあるのであらうが、作者は君代をいづれの時代に生活させてゐるのだかわからない結局この人は新らしい樣で古い人間ではないかと想像してゐる。

淺間隆君の「巷」、伊東剛君の「秋場の秋」、能遠士君の「鷄鳴なく家」等は印象は極めて不鮮明だ。能君は達者な人の樣だ。印象の不鮮明なのはもち論讀者の方にも責任は幾分あるが、作者自身確實にテーマを把握していないためであらう、そうした作品を發表する事は不親切な、無責任な事になりはしないだらうか。

高城正七君の「二人の女給の出發」といふのがある。筆者はこの人の作品を二三「默聲」で見たがいづれもモデル女や、若い人妻を取扱つたり女給を取扱つたり、作者はかうした女性を表現するに妙を得てゐるらしいが、一體に甘いものだ。書き慣れてゐる事は書き慣れてゐるがかへつてそのために小手先の利いたところが鼻につく。實のところ今度の作は既に發表したものより好意はもてなかつた。文學少女の愛讀する「若草」あたりに出るセンチメンタルな手紙を讀んでゐる樣な氣がした。この人の作品では いつも 形式主義者の亞流ではないかと思はれる。內容といひ形式といふのはたゞ抽象化して考へる時にのみ區分されるのである。主題に應じて、適當な形式を創造しなければならないのである。尙この外に詩もあるが又の機會にしやう。暴言多謝。

新刊と寄贈

◇**ドイツ資本主義の危機** 經濟學批判會譯編定價八十錢 今度の世界經濟恐慌の諸特性は何かといふに經濟恐慌の政治的危機への轉化の問題である。これの典型的のものがドイツである、よつてドイツ資本主義を解剖する、これを資本主義諸國にあてはめて我々は第三期における恐慌の作用が如何に重大性を藏するかを知ることが出來るであらう（麴町區四番町九叢文閣發行）

◇**築地小劇場史** 水品春樹著定價二圓 築地小劇場の創立動機から旗あげ第一回公演の「海戰」から最後の「西部戰線異常なし」の公演に至る六年間の小劇場の苦鬪史を正確な歴史的事實をもつて編んだものである。この本書に思ひ出のポスターや舞台面が圖版として收めてある（牛込區若松町一三三日日書房發行）

◇**スポーツ畫報**（七月號定價三十錢京橋區銀座西八丁目八スポーツ畫報社發行）

◇**新聞と社會**（七月號定價二十五錢麴町區元園町二ノ七新聞と社會社發行）

◇**社會學徒**（七月號定價二十五錢市外荏原町下蛇窪二八〇社會學徒社發行）

◇**プロレタリヤ科學**（七月號定價四十錢神田區今川小路一ノ一江戸ビル內プロレタリヤ科學研究所發行）

◇**禁書**（創刊號禁書會發行）

◇**立教文學**（七月號定價二十五錢市外池袋立教大學雜誌部發行）

◇**大學生活**（七月號定價三十錢神田區今川小路二ノ四大學生活社發行）

◇**無產者法律**（七月號定價二十錢芝區新櫻田町一九解放社發行）

◇**世界と我等**（七月號定價十錢丸の內三ノ十二國際聯盟協會發行）

◇**ドイツ語**（七月號定價二十錢神田南神保町一六尙文堂發行）

◇**セルパン**（七月號定價十錢麴町區一番町五第一書房發行）

◇**大衆經濟**（七月號定價三十錢大衆經濟社發行）

◇**大衆文藝**（七月號定價五十錢）

先づ節約で
牛鍋會
壹圓
牛肉お替付 清酒二本 お飯 [illegible]
[illegible] 大國 [illegible]

社會科學書本位
古本買入
神田神保町電車通
電話九段二六〇二
龍星閣

山へのリュックサックに
海へのバスケットに
英語研究
綠蔭に朝涼の窓に八月夏季號！
▼內容一斑▲
●ロオレンスのオブスィニティ……富田彬
●エゴイストの思ひ出（アアネスト・ダウスン）……內山源一
●英詩史（英詩講座）……酒井善孝
●英國文藝月次通信……ブランデン
●塵芥棄場の戀（マイケル・ゴウルド）……大平滄浪子
●ベネットの印象……エリス・ロバアツ
●讀者の力（ロバアト・リンド）……小澤準作
●誤植異聞……尾峰鷲洲
●英文學の歷史的背景……アンスティス
●サスウンのことなど……直木田藤夫
●日本シェイクスピア書誌……市河三喜
●ドイツ語講座……石川鍊次
●フランス語講座……河盛好藏
●古代英語講座……鈴木重威
●世界の金と物價の關係……大原英二
●映畫とファン（十分間會話）……レイコック
●和文英譯の一例……長澤英一郎
●京都帝大文學部入學選拔試問研究……今泉浦治郎
●和文英譯の講評と課題……神崎保太郎
▼警句から見た世の中 ▼漫畫現代史
▼海外新聞雜誌要覽 ▼笑語の研究
▼ベネットの藝術 ▼英米の新刊書
▼アアノルド・ベネット ▼世界文壇俯瞰
▼ベネットとジイド ▼戰爭詩人オウエン
●定價五十錢（送料一錢五厘）一ケ年前金五圓五十錢

音聲學協會編
ことばの講座（第一輯）
本書は曩に日本放送協會が十七回に亘り放送した講演集である。國際關係の愈々緊密複雜なる今日、先づ言語に於て民族意識の覺醒を促進す可き諸問題に就き、各大家が夫々專門知識を通俗的に講述せられたもの、斯學の人々は勿論、全國同胞の必讀す可き稀有の出版物である。
內容
●開會の辭……上田萬年
●發音機關について……岡倉由三郎
●東京語のアクセントと言葉調子……神保格
●琉球語の母音組織と口蓋化の法則……伊波普猷
●文字の話……後藤朝太郎
●外來語について……市河三喜
●室町時代の通俗語と能の狂言……和田萬吉
●意味の變遷……藤岡勝二
●方言……東條操
●平假名の話……吉澤義則
●語原と語史……新村出
最新刊 ●菊判美本● 總二二〇頁● 定價一圓二十錢（送料六錢）

早稻田大學教授 繁野政瑠著
近代英詩法
定價一圓八十錢（送八錢）
忽再版
本書は英詩研究の先覺者繁野先生が我が英學生の理解を標準として英詩の韻律を敎へられたる最初の書。引用詩句饒多且つ譯詩極めて瑰麗である。果然發賣數日にして版を重ねた。速に必讀を乞ふ！
東京麴町區富士見町
振替東京二八六〇一
研究社

初級雜誌
ドイツ語
一冊 ¥.20 送料二錢
ドイツ語研究者待望の雜誌!!
八月號愈々發賣さる!!
ABCはどうにか覺はる問題はその次だ！此處で大抵の者は凹たれる。ちようどさういふ危機に立つてゐる人たちの要求に應ぜんとするのが此の雜誌の使命である。
內容一班
●發音と初等文法
●易しい讀物の逐字的解釋
●印象的な個々の知識
●思想と文藝への語學的展望
●原書に親まんとする人々の相談相手
東京神田南神保町
尙文堂
振替東京一九三四四

皆樣の休暇中休ませて戴きます
池袋喫茶横丁又横丁
黑ゆり

毎度有難う御座います
今回池袋一、一〇六番に轉居しました
諸橋洋服店
立教大學前

暑氣に居て
よく凡てを忘れしめる
撞球の魅力
其の名も涼味
銀水へ
池袋市場裏

八王子幼稚園長 八王子聖公會牧師 伊藤堅逸著
最新刊
幼兒の如くならずば
四六版美裝 定價六十錢
クリスチヤンの黃金律！教師！、保母への名訓！
……『若し改まりて幼兒の如くならずば天國に入るを得ず』……
『幼兒の如くならずば』との御語は聖書の中心思想である。至純な童心となつて素直に神を受け入れることは入信へのスタートであり又ゴールである。謙虚な胸に主を迎へ奉る事によつてのみ眞のクリスチヤン生活は實現され地上も天國化する。若し世上言ふが如く基督教行きつまれりと假定せば之を打開するの途は壯嚴なる禮拜、雄辯なる說教、巧妙なる傳導等より寧ろ『幼兒の如くなる』と言ふ此の簡單なる一語を再考し之に眞實生きる事ではあるまいか？
著者は多年幼稚園の經營者にして兒童心理に對する造詣家として知られてゐる。日曜學校教師及び幼稚園保姆は勿論、苟も神國建設擴張の爲に憂ふるの士はよろしく本書を座右に備へ熟讀翫味されん事を切望する。
內容目次
緒言
第一章 幼兒の如くならずば
第二章 幼兒の特徵（イエスの兒童觀）
第三章 幼兒の單純性
第四章 幼兒の謙遜
第五章 自ら助くる力なき者
第六章 シモンペテロの性格
第七章 幸福の源泉
東京市麻布區材木町二四
振替東京四一七四〇番
聖公會出版社

故神學博士今井壽道著
模範的祈禱集!!（各種の祈禱約百篇蒐集）
新裝版
祈禱の園
小型美裝 定價六十錢
絶版中の名著復活！新しく組み、新裝されし祈の寶典！祈りへの優しき手引親しき友！
功名の夢破れ富貴の泡砕けて、幽愁寂寞の天地に俯仰するとき、必ず心に潛める思念を喚醒して自ら省れば、人生の希望果して何物ぞ 嗚呼天よ天よ……我が涙は祈禱となり「サクラメント」となり感謝となり讃美となりぬ……我は今より死海を渡りて新鮮なる天地に盡し生命の樹林滴たる樂土に至聖全愛の「トリニチー」を讃美する時まで朝々夜々「祈禱の園」にありて……（著者序文の一節）
本書は敬虔其者の如く學德一世に高かりし今井博士が西歐の祈に關する數多の書籍を參考とし祈の裡に其の深邃なる學識と優秀なる靈筆とを以つて綴られたものである。祈るべき正しき語句を欲する者は請ふ萬朶の花の如く映き亂れたる此の「祈禱の園」に來りて馥郁たる其淸香に浴せん事を！

東京帝國大學宗教學研究室 宗教研究編輯部編
宗教研究
新第八卷第四號 定價金一圓 送料金六錢
論說——朝鮮巫人の入巫過程（秋葉隆）・「我の覺知」（金倉圓照）・倶舍論の心所說に關する研究（鈴木宗忠）
資料——佛教に於ける「信」の種々相（山邊習學）・イギリスに於ける洗禮論の史的考察（朝日融渓）・善無畏三藏の名義は吐蕃語の音譯か（寺本婉雅）阿彌陀佛の名義に就て（西尾京雄）黑崎地方の舊切支丹（田北耕也）マンダ敎について（森敬之）
傾向——宗教起源說と至上神の問題（宇野圓空）・「中世寺院經濟史論」論評（阿部眞琴）・幻影消滅の宗教（增谷文雄）・文化形相に基く葬儀の分析的研究（杉浦健一）
新刊紹介・彙報
東京神田區神保町一
振替口座東京一三五一
同文館發行

休暇來る！
海に山に！
是非本書を携へられよ！
府立高校教授 山田幸三郎編
樂しみつゝ覺えられる
休暇中の獨逸語
高校初年級の夏休みは一生中の最も樂しき時期の一であるが、折角修得した獨語の入門知識を此の間に大半忘失するのは實に遺憾である。本書は著者多年の經驗から此の缺を補ふ爲に生れたものである。材料は興趣に富み詳註が懇切なるは自修用を目的とするからである。小冊子ながら古今の名篇を集めた積りである。
■四六判型・總クロース貼・美本
■正價 金九十錢 送料 金六錢
東京本鄉龍岡町
南山堂書店
振替東京六三三八

學消本學支部―― 遂に解散の悲運

存續の見透し立たず委員の決意

多難なりし鬪爭過程

世界的恐慌の嵐は遂に學生の頭上にも猛然と襲ひかゝつて來た、常に學生の立場から、學生の利益擁護のために戰つてゐる學生消費組合本學支部では今春以來活ぱつに組合の大衆化を計り組合員獲得等益々その強固な根城を築きあげて來たのであるが何故か當局の忌避するところとなり去る六月十八日學內公認を取消されかつ組合員獲得を禁止され飛躍すべき組合の將來に對して一抹の暗雲を與へられてこれが障害の排除に腐心し、本部との交渉支部會の開催、總代會、さては組合委員の數度に渉る協議會で審議し全國總成を目前に控へて重大なる秋に當りこの難關を突破すべく日夜奔走に奔走を重ねたが如何ともする事が出來ず中央委員會では既に解散と決定した、しかしながら組合員の大半は歸省した後なので即決する事も出來ず九月早々組合員大會を開いて本學支部としての報告並に意見の交換をする事になつた

最大の原因は當局の杞憂から

賀川豐彥氏の折衝も効なく

東京學生消費組合本學支部では部長野數教授の辭任後學消內の結束增々固く委員等の決死的努力によつて少なからざる利益を見せ一時は樂觀されるに至つたが種々なる主觀的事情や學生大衆の學消運動に對する認識不足並に學校當局の新交渉により新入會員にして組合を脫するもの續出しその後次第に不振を極める樣になつた、委員は更に擴大調查等を設け學生大衆に學消なるものを理解させ會員を募集せんとした矢先六月五日突然學生課より活動停止書を受取りこの停止書一枚のため學消では全然運動を**阻止**されるに至つたので學消の委員等は學生主事を訪れ活動停止の理由を問ふた所「部長が居ないからやつてはいけない」との事なので種々この件に關し交渉を進めて居た折又々同月十八日學消の公認取消を受取るに至つたこゝにおいて本部より賀川豐彥氏の來校を乞ひ石川學生主事と種々交渉する所があつたが當局の意志があくまで強固なため**意見**合はず學消本學支部の存續不可能を知り六月二十五日駿台支部において開かれた本部會で本學支部が議事日程に上り結局解散が決定されるに至つた本學支部においても將來の見透しがつかず從來の樣な苦境を續けて行つても結局は解散になるだらうと愍ずる者があり既に解散を決意して居る委員もあるが結局總會によつて學消の態度を決定せんとし來學期早々本學支部の最後的態度が決定されるはずである

團結努力の棘の道

學消の經歷

學消がたどつて來た路をふりかへつて見る時眞に團結と努力によつてのめ進み得たいばらの道である 昭和四年五月約六十名の會員を得多大の期待の裡に先幸善くスタートを切つた學消はその後學生大衆の利益擁護をスローガンとして幾多の困難と戰ひつゝも山を越へ谷を渉つて勇敢に前進して來た最初の六十名の會員も百八十名に上り組合ニュースを發行して增々學消の正體を學生に理解せしめ獻身的奉仕によつて今日まで持續して來たのである

準備全く整つた 兩校學友會大會

九月九日、十日の兩日

既報の通り本學及同志社大學々友會大會は、各委員數度の交渉の結果、兩大學々長を會長とし、本年に限り本學ラ總長を名譽會長に推戴して九月上旬華々しく開催される、尙會長はその年の開催地によつて交互に當番會長を務めるのであるが、本年度は本學側が當番校のため杉浦學長が當番會長である

有料 ゲームは野球部（五十錢、兩校學生に限り二十錢）水泳部（三十錢、兩校學生に限り十錢）音樂部並に英語部（三十錢、兩校學生に限り十錢）でいづれも當日發賣する

【試合日割】

九月九日
野球部（神宮球場）未定
柔道部（本學道場）午後二時
弓道部（同　　）午後一時
庭球部（本學コート）午前十時
辯論部（本學講堂）午後五時

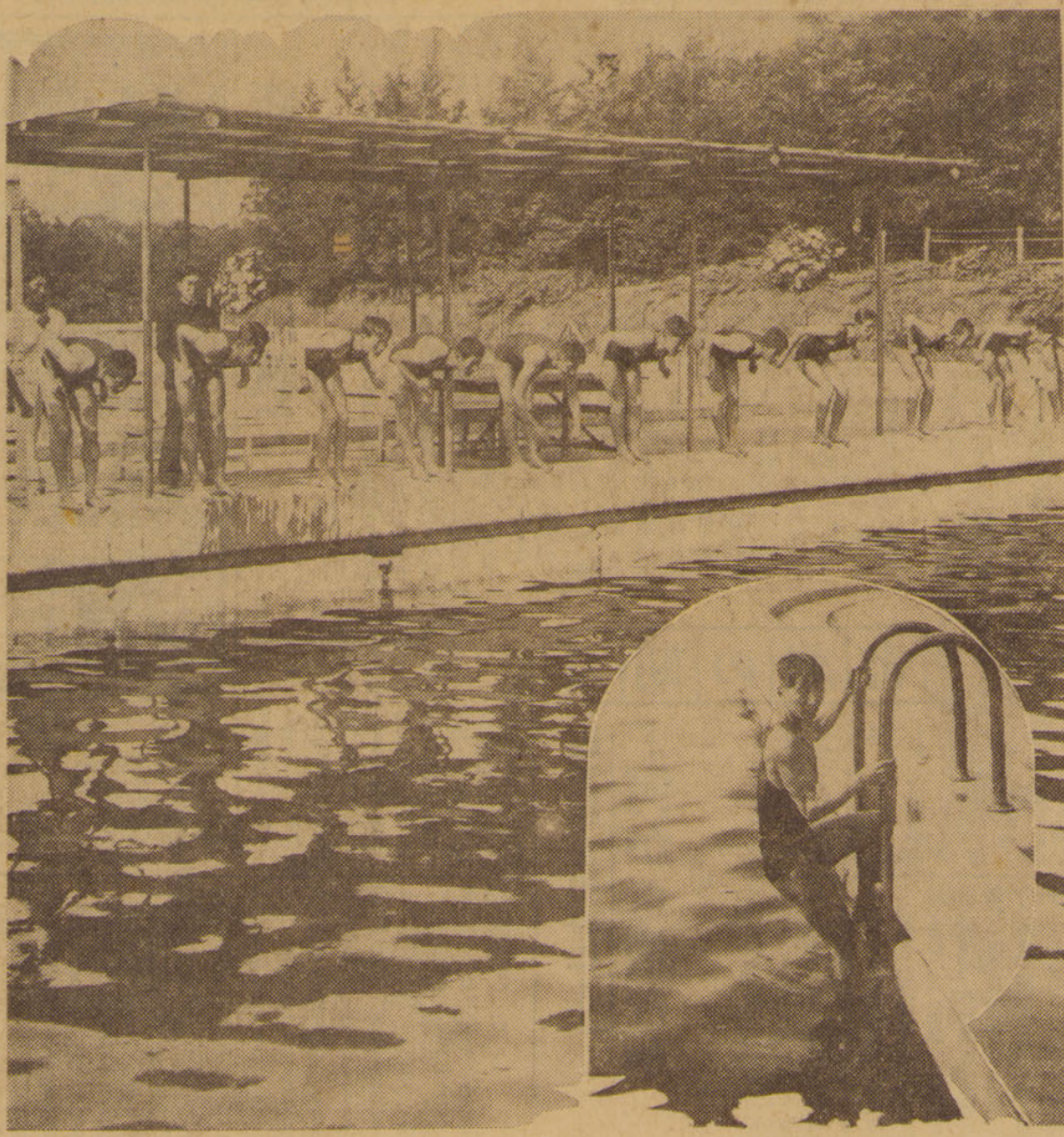
九月十日
相撲部（本學道場）未定
劍道部（同　　）未定
籠球部（本學コート）午後一時
庭球部（同　　）午前十時
競技部（上井草競技場）午前十時
ラグビー（同　　）午時四時半
水泳部（神宮プール）午後五時
音樂部 英語部（朝日講堂）（午後五時）

九月十一日
兩校交歡會（本學ホール）午前十時
當夜同志社大學一行西下

又再飛躍の 英語部

期待さるコンテスト

本學對同志社戰は夏休あけの九、十日兩日に亘つて華々しく開催されるが本學英語部でもこの期に大飛躍を試みやうと九月十日朝日講堂において兩部のコンテストが行はれるがこの日は音樂部も出演するので場所が場所だけに多大の注目を以て見られて居る 尙同部では去る十三日東京日日講堂においてアプトンクローズ東洋觀光團歡迎の日米親善大演說會が行はれた出席校は早、慶、商と本學の四校で本學より草間磐和君が參加した又今月初日フイクス氏の引卒せる米國東洋觀光團の歡迎會が五番館で催された當日の出席者は團員六名、根岸、金子、高松、フート、スコツト、フランスタツトの諸教授と學生五〇名ですこぶる盛會を極めた



夏は躍る

明らかな夏が來たのである！ 夏！ 夏！ 夏！ 學友會各部は思ひ思ひのプランをもつとも効果的に全うすべく、それ／＼の思ひを凝らした夏季計畫をあるひは山にあるひは海に、遠征に、合宿に、若人の特權を滿喫かしてゐる幸ひなるた■

水しぶきをあげて、見よこの男性的み力！ 何とそれは明らかで、元氣に滿ち滿ちてゐることか

ハリ切つた男性的肉體美の無雜作な發散は、夏の異性達の研ぎすまされた性的感性をそゝらずにはゐまい！ おゝ偉なる哉！ 男性の健康美！

△▽

學徒よ健康であれ！ この合言葉のもとに、海に山に健康を鍛える若き學徒よ、健康こそ活きるべき單位なのだ肉體を鍛え、健康を强たならしめることこそ夏期休暇に與へられた最重要の課題なのだ。自由に、屈たくなく、朗らかに夏を暮せる人の特權――ほんのさゝやかなそれではあるが――も年一年と、日一日と剝奪されつゝあることを、我々は忘れてはならない。インテリが沒落の過程をたどりつゝあることと思ひ合せて、ユメユメ、我々は安閑としてはおられないことを忘却しては健康の鍛錬も無意味なのだ！

朗らかな夏が來たのである！ 夏！ 夏！ 夏！ 學徒よ健康であれ！

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

夏に咲く學生の 歸省萬華鏡

驅けめぐつて脫線した カメラのいたづら

歸省、分けても夏休みの歸省は學生々活の喜びの最たる一つである。だからこそ、それをめぐつて幾多の悲喜劇や、エピソートや、ナンセンス・コメデイが生れる。で、地方からの學生は、夏が來て休暇になると、われ先にと歸省を急ぐ。ボヤ／＼してコチラに殘留しやうものなら、「リーベと別れるのがつらいからだ」とか「お袋が患ふんだよ」「夏休みまでクソ勉强なんだ」勝手なエン罪が天下御免でつけられ、でつまるところは「なに奴ア馬鹿なんだよ」となつてしまふ。

× ×

東京、上野、新宿の各驛が歸省學生の出口であるが、「一時預」に荷物を置いて、發車までの時間を利用して驛の近くのカフエか、バーか、ビヤホールへでもくり込んで、ご機嫌いとナナメナラズして盛んにメートルが上る、氣がついた頃はもはや「汽車は出て行く煙は殘る」のカタチ……

× ×

遠大なる理想主義者は、歸省用の金でウントコサと本を仕入れるそれを行李、トランクにすし詰にして「歸つたら片つ端から征服だ」どうせ歸れば讀みも、讀めもしないほど遊ぶのに急しいのはわかつてゐても、そいつを汗水流して下宿から驛まではこぶ。

× ×

汽車の中では、たれもがロマンテイストになつてゐる。歸つてからの當然經驗するだらういろいろな事、人――男・女を想像してひとり悅にいつてゐるもの。隣り合せて乘り合せた客と面白オカシク話してゐるもの。差向ひになつた見知らぬ女の人に「書生ッぽ流な」また東京仕込の「流ちようさ」で應對してゐるもの。本をニランでゐるもの。

乘換へ驛のある學生で、そこで一泊でもする野心家は、急行券が駄目になるので、わざわざドンキウ（普通列車）にする。ドンキウを選ぶたのしみは、第一に乘客の顏觸れが「猫の目の如く」あるひは「七面鳥のやうに」千變萬化するところにある。二つには規定の回數だけ、氣の向いた所で途中下車が出來。時々脫線して「旅の恥はかき捨て」また「かき得」をやる。

× ×

鄕里が近づくと緊張したうれしさ、喜ばしさに洗禮される。氣の早い連中は一時間も前から、立つたり、座つたり、落着がない。あるひはまた流れる景色を見ては、ほゝえんでゐる。

× ×

だれでも驛から家までは晝でも夜でも、意氣揚々として步く。小學校の先生とお巡さん以外に洋服姿がゐない田舍では、子供達に急にペコンと一つおじぎをされて、ポカンとなり、思ひだしてあはてゝ返禮する。

× ×

歸省の盛裝は、百パーセントの學校マネキン・ボーイ然たるものだ。制服制帽は、別として浴衣、ワイシヤツ、カフスボタン、バンドの金具、手ぬぐひ、タオルから香水にいたるまで……。

「お前の學校はとても嚴重だね」

「なぜ？」

「だつて、何から何まで學校の名前がはいつてるぢやないの」

母親との會話――だが世の中の母親よ！ これも「愛校心の發露なり」といへばいへる。

× ×

かくして學生の二ケ月余の歸省生活は開始する。海に、山に、綠陰に。――秋風涼しくそよぎ始めるまで……。

弓道部OB生る

創立以來着々活躍の步を進め內容も充實したので、昨年漸く學友會の一部として加入を認可された本學弓道部はその後も對外的は勢力をあげて目覺しい活躍を續けてをり既に同部創立以來の先輩も十數名に及んでいたのでこの程現部員先輩間の親睦を計ると共により同部の發展のため、しいては先輩同士の親善を畫つて去る十二日新宿エルテルにおいて弓道部OBの發會式を開催したが在京者は百パーセントの出席を以て盛大裏同會の結成がなされた

五福薄荷販賣に 北海道方面へ旅行

よろしくたのむと池田君

二ケ月余の夏休みを利用して每年海岸のキヤンプストアや輕井澤あたりのホテルのボーイ、自動車會社、あるひは農村牧場に働く學生が多數であるが不景氣の波にもまれてゐる昨今の社會狀態では學生の唯一の働き場所も幾分せばめられた樣な有樣で本學の池田君は過般、池袋露店で期田燒を賣つてゐた姿はまだ記憶に新しい事であらう、所が今度は五福はつかをしこたま仕いれ同勢四五名で今夏は北海道方面へ行商に出る事になつた本學々長の推薦狀をもらうなど池田君は大いに張り切つてゐる北海道方面の學生諸君の御援助を切望すると

映研が機關紙發行

既報關東學生映畫研究會聯盟設立以來斯土從來の勢ひを以て着々その目的に向つて驀進を續けてゐる本學映畫研究會は去る五日機關紙第一號を發刊し評論・感想等で會員相互の聯絡を圖る、なほ來學期の計畫は講演會、研究發表會、撮影所見學等で詳細は追つて發表する豫定である

移動映寫合宿は中止

先に第二回合同作品の完成ニュース班の確立等矢次早に發展をとげた小形映研は同部前進の一階段として夏季休暇計畫の移動映寫合宿は部員の歸鄕及び第二學期計畫充實のため去る總會において中止することに決定した

開校以來の嚴處分【東大】

白木屋食堂問題に端を發した東大騷擾は、牧野博士締だし事件等にからんで法學部緣會の活躍を見た學校當局は左黨的擧動と見なされる緣會委員三十四名中二十五名を一齊に處分、一名を放校に他は一年間の停學で東大開校以來の處分である

互助會費の直下げ【商大】

久しく問題とされてゐた一橋互助會は一般から批判眼を以て見られかつ又昨今の財界の不況によりもつとも痛感した豫科互助會役員は豫科會理事と協議の結果會費の直下を迫つた

早大學新發行停止【早大】

進步的學生によつて支持され發行を續けて來た早大學生新聞は公安を紊するものであるとの事で去る六月戶塚署から發行停止の命令を受けた今後再び復活するか？

就職率は五割二分【慶大】

就職戰線異狀ある昨今同大の調査によると卒業生九八五名の內三七四名で經濟學部五割、醫學部十割高等部三割八分總計五割二分といふ就職率であるがまだ四割八部は豫備役である

戲曲研究會 開催

劇研の新しい試み

劇研究會主催の第一回戲曲研究會は六月三十日雜司ケ谷番匠谷教授宅において學期試驗を目の前にひかへながら會員十余名の出席をみ第一回戲曲提出者文學部二年村上定一君の戲曲について本讀みの形式で批判研究を行つた。なほ今後戲曲研究會を每月一回乃至二回を持つことによつて外部的でなく內部的に着々と强靭な步みを步んで行く由である、なほ二學期には劇評、として曾我廼家五郎を座談會に招く事に決定した

全國日曜學校協議會

聖公會教育局の主催で

日本聖公會教育局主催全國日曜學校協議會は去る七八兩日日本聖公會神學院において開催された、これは日曜學校に關する事項を研究し特に聖公會日曜學校としての授業に關する件、並びにそれに伴ふ傳道の點に關して協議するもので全國各教區地方部代表者二十余名が參加したこれ等は大部分校友であるが理事に本學文學部長小島茂雄氏、村尾教授、代表に佐々本神學院教授須貝教授の顔が見えた

校友會報何のその 友を呼ぶ會發刊

昭和五年度卒業生等の手で

從來卒業生は校友會の手で學校と一切合切の連絡をとつてゐたのであるがその校友會も今度校友會報なるものを發刊し、益々學校と校友との連繫に努めて來た、しかし何といつてもかゆい所に手が屆く樣に滿足出來ず眞先にこれを痛感した昭和五年度の卒業生で、何とかせにやならんといふので「友を呼ぶ會」といふのを發行する事になり今度學生時代は喧嘩の一つもした連中でもなつかしい友を呼び豫備軍の集りでもなからうが何とやさしい羊の樣な名前の雜誌をまづ五年度の卒業生を中心として今後漸次に**擴大**して行くそうであるやがては校友會報の向ふを張る事であらう

確立された 卓球聯盟

二荒芳德伯を會長に

關東關西兩學生卓球聯盟ではかねてより全日本學生卓球聯盟の組織を企圖してゐたがいよ／＼去る十日聯盟發會式をあげ關東側は河本博士、關西側は福見博士を會長に推し、全日本學生卓球聯盟會長には二荒芳德伯の就任を見たが從來兩學生聯盟によつて擧行されてゐた東西學生對抗及び全日本學生選手權大會を同聯盟により開催する事となり去る十一、十二の兩日各午前十時より神田YMCAコートで擧行されたが本學の幸田君は本年度も全日本學生の選手權を獲得し東西學生對抗では十七對十一で再び關東軍の手に歸し本學からの出場選手は幸田、石橋、宮塚の三君である、尙對同志社との試合は九月十日午前十時より三回戰十一點先取の方法で選手七名を送るはずである

十五日で寄宿舍閉鎖

試驗の終つた學園はあらしの後の靜けさで一段とせきりようをきはめ降りそゝぐ昨今の雨に生氣を盛り返した芝生を取り圍む立敎名物の東西兩翼の寄宿舍も懷かしい歸省で心忙しく若者達はドン／＼歸つて後に殘つた古强者達が最後の亂舞に夜の更くるも知らぬ氣であるが大火の後の余燼でさても故山を思はゞそゞろに哀愁の泪にむせぶとかこの十五日で寄宿舍も閉鎖せられる

斷然一部進出か

ア式蹴球部

今年度から獨立した一團體として活躍する樣になつたア式蹴球部はこの夏も三伏の暑さも何のそのの勢ひで練習を續け秋に開かれるリーグ戰に參加する豫定で既に發表された試合日割を見ると十月十日の對商船戰（中大グラウンド）を皮切りに十七日には對國大戰（商船グラウンド）三十一日は對中大戰（商船グラウンド）十一月七日は對日齒戰（中大グラウンド）十四日の對商大戰（商船グラウンド）である 尙このリーグ戰は二部の對抗戰で本學では斷然一部に進出せんものと元氣一杯である

田中王堂氏病む

本學哲學科教授田中王堂氏は今年二月以來病魔のため逗子海岸の別宅で靜養中であつたが昨今その回復思はしからず近親者達は心痛してゐる

自由槍

▲女と名刺……學部の方が休みになつたが豫科の方はまだ授業中の事朝から暑くて張り切つた豫科生のある者は窓に初夏の空を見あげては講義なんか耳にはいらばこそ……終業のベルの鳴るが早いか、バツトの煙と「嘆きの天使」だ。時しも敎室を訪れたら若い一女性もちろん美人だつた「あの……お名刺の御用はありませんでせうか？」と一人のシツクボーイを摑へてさゝやけば「おいパンちやん――名刺だつてさ、作らないか？」――と同志を呼ぶ、見る見るうちに美しい異性をかこんであの山だ、「おい、肩書を何んてするんだ？」「立敎大學×科學生といれろよ！」「×部委員もいれようか？」「××同盟員もいれよう」……とうとう「立敎大學×科學生の外に二つ三つの肩書がついてしまつた「よせやい。まだおれ等は學生じやないぞ……」とやると「これでまけとけ……」「いくらだい」「あの色々御座いますけれど……これが六十錢、これが八十錢、これが一圓……です。でもこれの方がよろしいですわ」と一圓の方をすゝめると立敎ボーイのやさしい事「よしそれにしやう……」と手を打つたまではいゝが「すみませんがいくらでもよろしゆう御座いますから先に戴きたいんですが」と奧の手をだすと「おい五十錢貸してくれ！」一孃さんはにつこり……。

社告

本紙は本號を以つて以後發送を中止致しますから未拂込の方は至急御申込下さい、尙夏期中事務所を左記へ臨時移轉致しました。通信は總て左記へ願ひます

東京市外西巣鴨町宮仲二八八〇岩田鬼一方

新聞學會

每年流行を先驅する ヨシノヤの靴
ヨシノヤ靴店
銀座松坂屋前

由比ケ濱へ出張しました。
御出ての節はお立寄下さい。
喫茶とお食事
ミカサ
喫茶橫丁

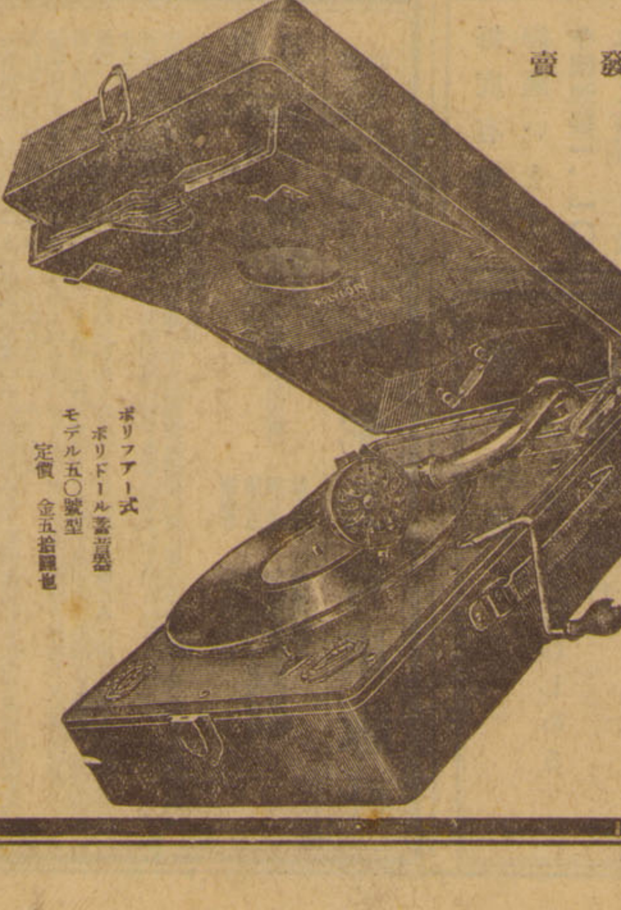
COCKTAILS
AMATEUR STAND
DAIICHISOGO BLDG
KYOBASHI

御晝食は是非文丼を！
他店の追從を許さぬ美味、朝晚用意も整へてあります
としま庵
池袋喫茶橫丁

メダル　徽章　カツプ　賞牌
立教大學御用
川手徽章製作所
[illegible]

山に……海に………
紺碧の空・波・峰・雲と
カメラの躍動
現像……燒付……引伸は
評判のミユキへ
藝術寫眞・懸賞寫眞の調製
御相談にも應じます
最尖端!!　夜間同一撮影法
大切の御寫眞は是非ミユキへ御申付下さい。
きつとお氣に召す寫眞を作製いたします。
斷然トツプ　大カビネ一組￥2.50
普通カビネ一組￥2.00　ポストカード一組￥1.50
合判本二枚掛一組￥1.00
撮影材料販賣
ミユキ寫眞店
立教大學御指定
各大學御用命
池袋・豐島師範橫喫茶橫丁

この味・この一杯
ヱビスビヤホール
池袋驛東口前



新發賣
ポリドールの此の手提蓄音器です
海に山に一九三一年の夏の好伴侶は
ポリフアー式 ポリドール蓄音器
[illegible]

美津濃の靴と文具

支那料理
銘酒 褒紋正宗
支那酒各種
菊水
豐島師範際
電大塚三〇八五

京橋
產婦人科
醫學博士 保坂孝雄
電京橋(56)三九六
京橋區木挽町一ノ一四
グランドキネマ階下
若線 有樂町驛下車
市電 銀座一丁目

暑中皆樣の
御健康をお祈り
致して居ります
鈴木ホール

上海料理
御晝食は三樂で
電大塚3260
三樂
師範前通り